

## 1、基本研修

(教養課程) 10:05～11:05

### 「歯科医師と歯科技工士のよりよい関係の構築について」

我々歯科技工士が臨床に於いて仕事を進めて行く上で、歯科医師との連携が必要不可欠であるが、立場の違いや利害関係の存在によって両者の関係性には何かギクシャクしたものが生じがちであるのではないだろうか。また、そのような状態では質問や意見、確認、伝達、提案、要望といったことがスムーズに行われず結果的にトラブルの原因を作り出すことになってしまうのではないかと思う。

私も以前はそのような問題を抱えることが多くあった。しかし、現在は全てではないが長年の経験からその良い関係が作れる状況が構築出来た様に感じる。

「歯科医師と歯科技工士の良い関係の構築について」と題して「私の歯科技工観」をもとに「歯科技工」と言う職業の本質を考えながら私自身が実践していることについてお話したいと思います。

(専門課程) 11:05～14:00 (12:05～13:00 昼休み)

### 「歯科技工の要点」

歯科治療に於いて最終段階となる補綴処置では、補綴装置の良否がその治療の結果、以降の推移に対して大きな影響を与えることは周知の事実である。また、近年ではネットワークの普及によって患者は専門的な情報も簡単に入手出来るようになり、審美性、機能、長期安定、等 患者からの要求も年々高まって行くばかりである。

そのような状況に於いて我々歯科技工士は、確実に質の高い補綴装置を製作し患者をはじめ歯科医師、歯科衛生士と共に全員が満足出来る歯科治療のゴールを目指す事が必須の職務であると考えている。

本講演では私が日々実践している歯科技工での基礎的な事から咬合や審美について臨床例を示しながらそれぞれの注意点や要点をお話したいと思います。